

# 北竜町地域公共交通活性化協議会 における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

本町は、スクールバスによる路線運行だけでは、停留所までの連絡が困難な地域があるため、乗合タクシーの本格運行が検討されてきた。

実証運行ではバス輸送を含めた自宅前送迎車としていたが、本格運行では、利用人数からタクシー車両のみによる輸送とし、運行方面についても実証運行3方面を2方面へ統合した。

路線バスや住民混乗バスが走っていない公共交通空白地域を解消し、お年寄りなど通院や買い物に不便を感じている住民が中心部に気軽に外出でき、路線バスへの乗り継ぎに配慮した公共交通体系の確立が必要である。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

北竜町アクセス交通・町内公共交通輸送人員

10,200人／年

収益率20%以上

町負担額5,000千円以下

## 令和5年度事業概要

### 乗合タクシー

- ・美葉牛碧水方面(運行区間:美葉牛碧水等 運行回数:386回 運賃:200円)
- ・竜西和方面(運行区間:竜西和等 運行回数:615回 運賃:200円)
- ・連絡施設間運行便(運行区間:和岩村等 運行回数:257回 運賃:200円)

### 町営バス北竜追分線【車両減価償却費等国庫補助】

(運行区間:碧水市街～追分市街 運行回数:976回 運賃:200円)

## 地域公共交通の現況

空知中央バス(和線)

スクールバス(3路線)

乗合タクシー

- ・美葉牛碧水方面
- ・竜西和方面
- ・連絡施設間運行便

町営バス北竜追分線

## 協議会開催状況

令和5年6月27日 第1回協議会開催

主な協議事項

生活交通確保維持改善計画の変更

令和5年9月28日 第2回協議会開催

主な協議事項

北竜追分線 工事による運行路線変更

空知中央バス北竜線の廃線報告

令和5年11月7日 第3回協議会開催

主な協議事項

空知中央バス北竜線廃線に伴う代替路線について  
北竜追分線時刻表変更

令和6年1月19日 第4回協議会開催(書面)

主な協議事項

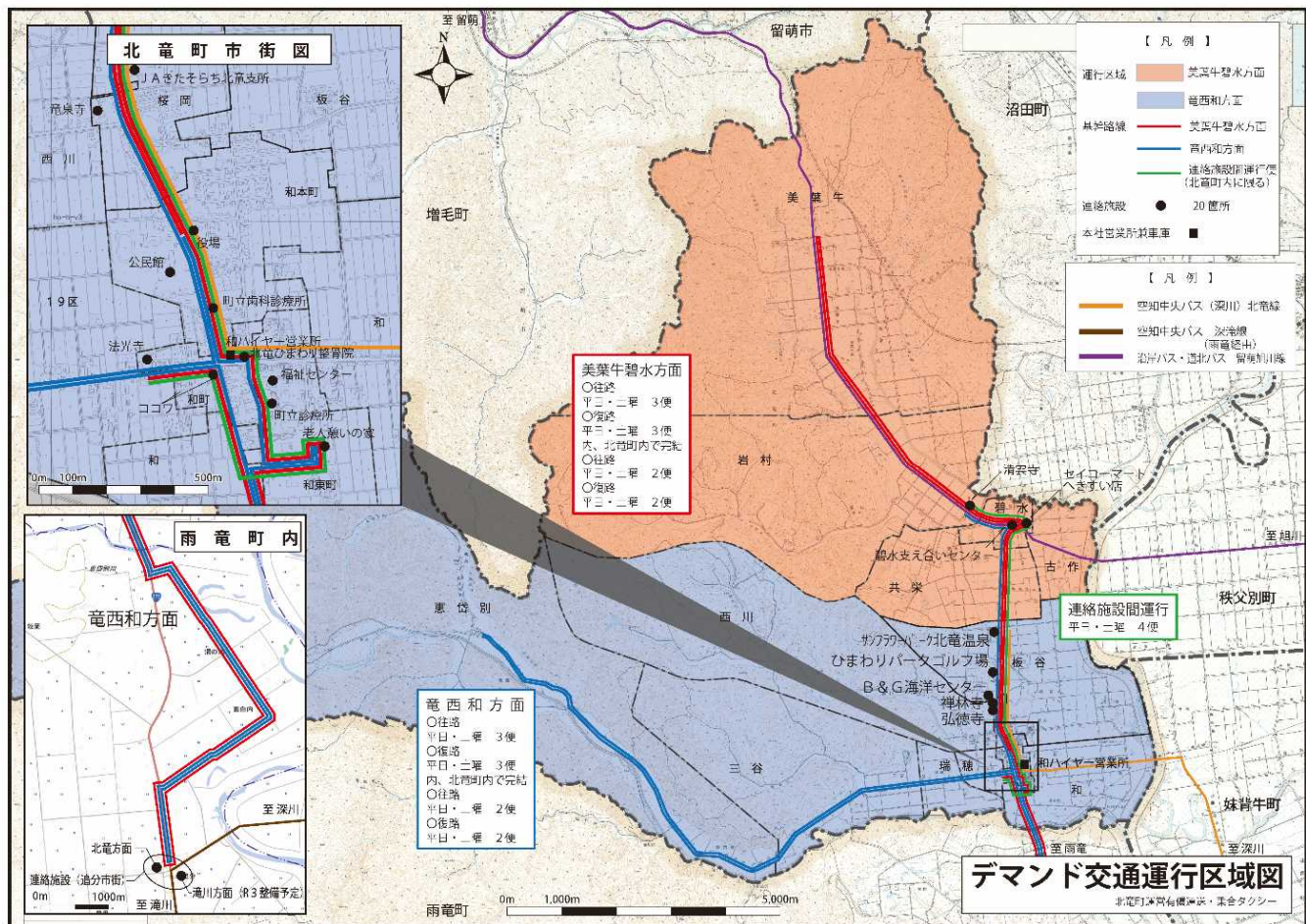
地域公共交通確保維持改善事業の事業評価

# 令和5年度事業の実施状況

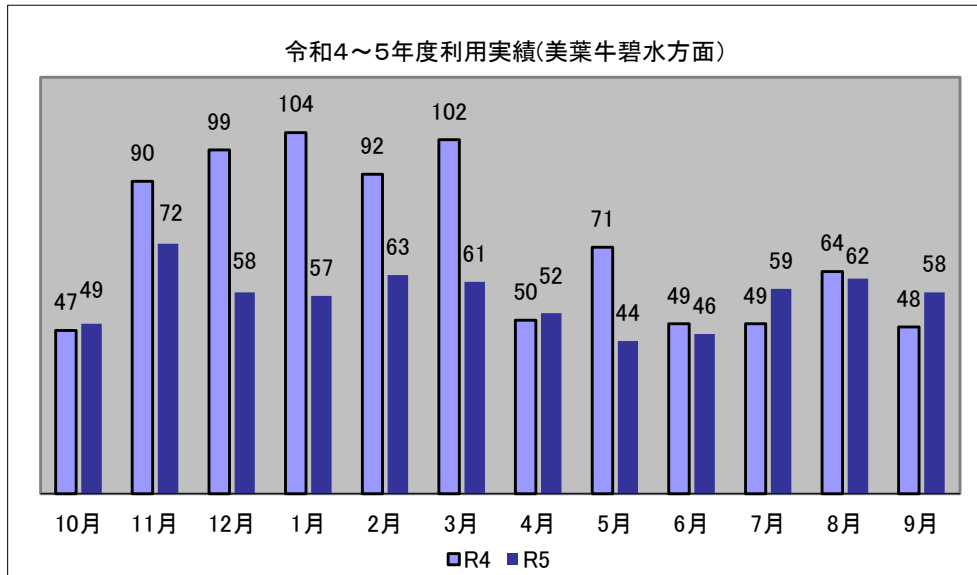
## 1) プロセス、創意工夫

- ・簡易チラシの作成配布
- ・町広報誌掲載
- ・集会での説明
- ・公共施設に掲示

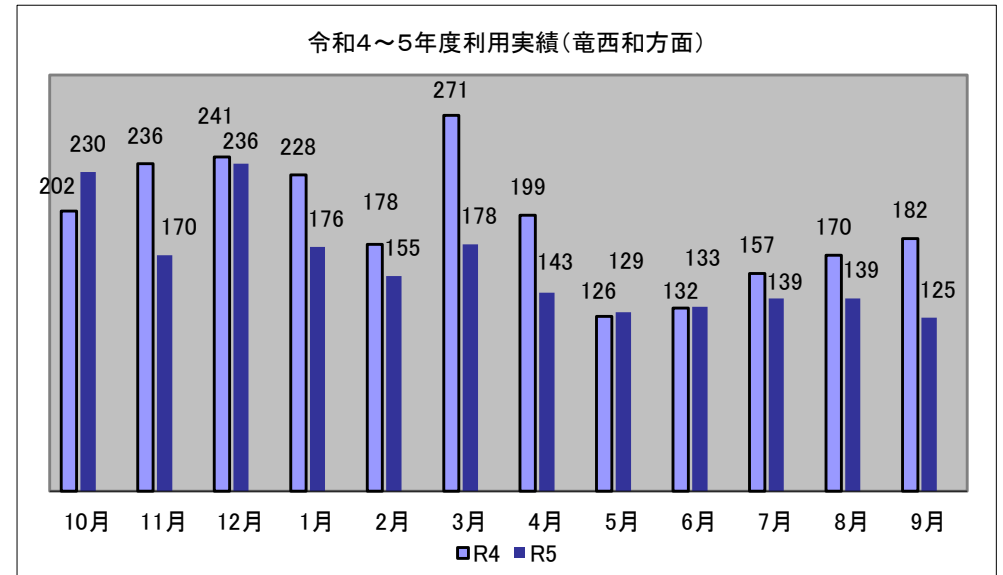
## 2) 運行系統



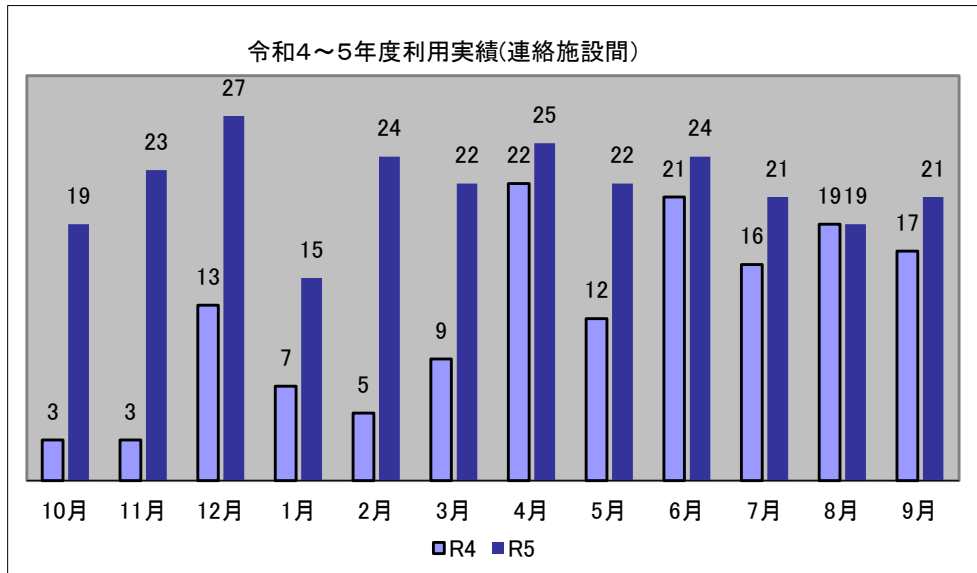
### 3) 利用実績



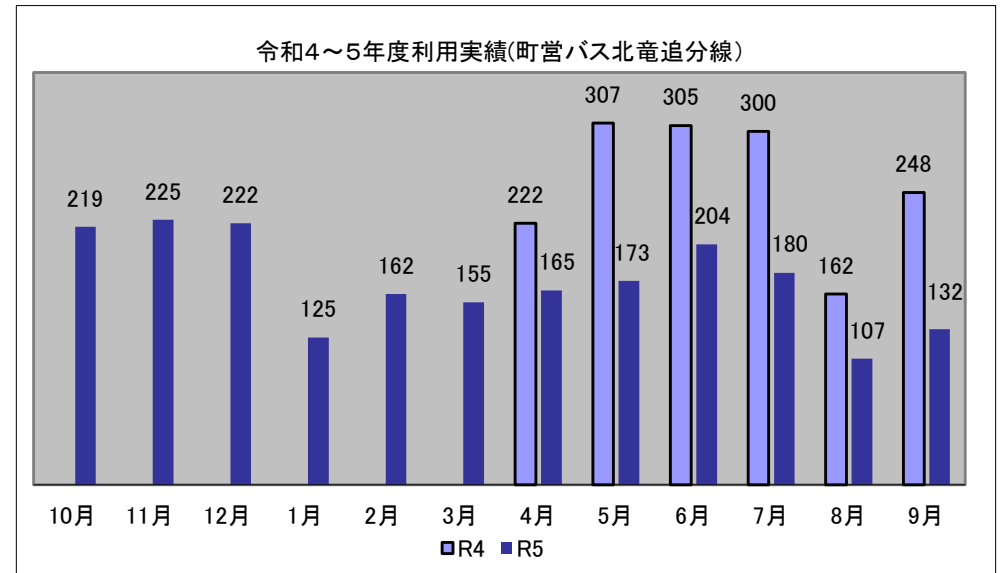
合計 R4 865人 R5 681人



合計 R4 2,322人 R5 1,953人

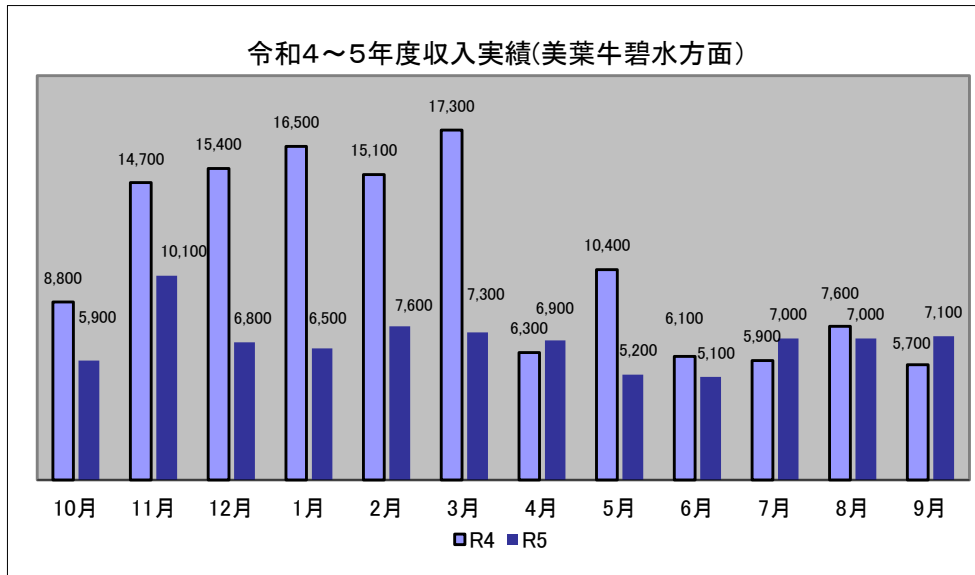


合計 R4 147人 R5 262人

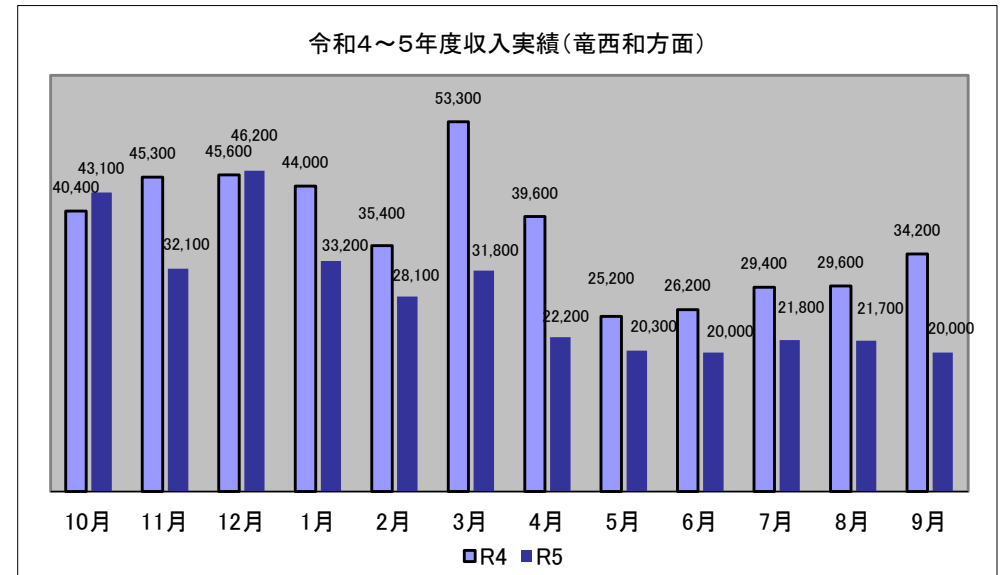


合計 R4 1,544人 R5 2,069人

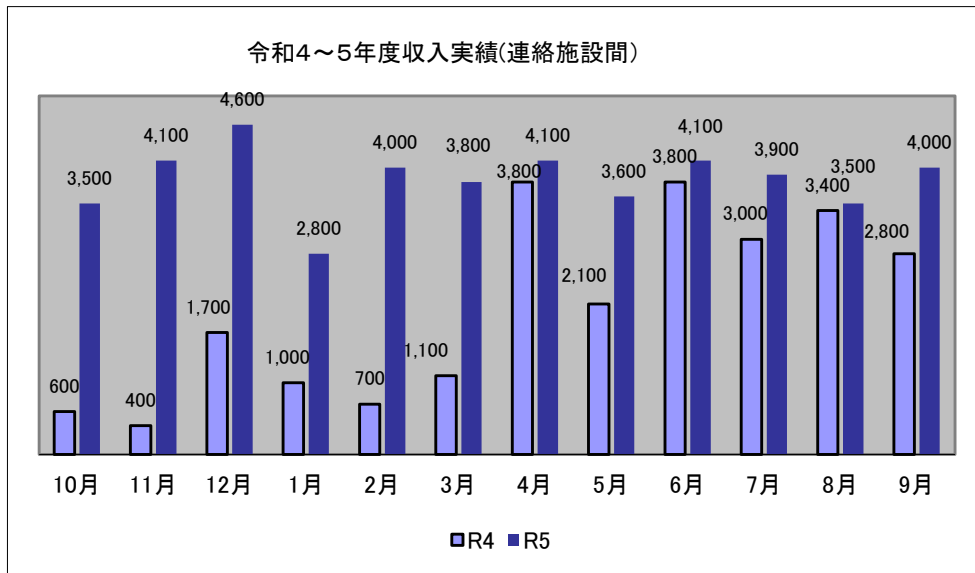
## 4) 収入実績



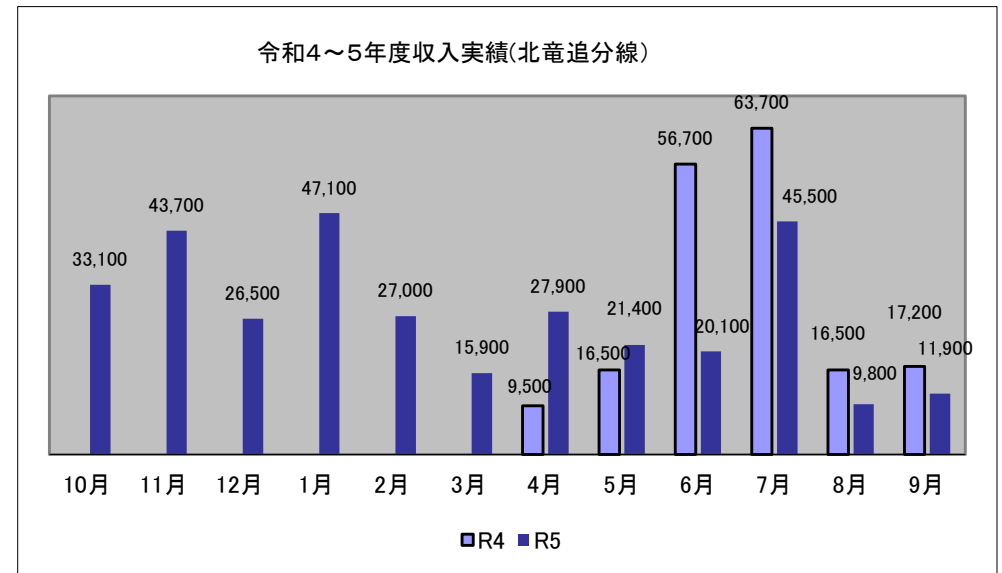
合計 R4 129,800円 R5 82,500円



合計 R4 448,200円 R5 340,500円



合計 R4 24,400円 R5 46,000円



合計 R4 180,100円 R5 329,900円

## 5) 事業実施の適切性

### ・乗合タクシー

#### 【美葉牛碧水方面】

事業は適切に実施された。

#### 【竜西和方面】

事業は適切に実施された。

#### 【連絡施設間運行便】

事業は適切に実施された。

### ・町営バス北竜追分線

事業は適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

### ・北竜町アクセス交通・町内公共交通輸送人員

輸送人員10,200人／年に対し、6,806人／年(乗合2,896人、アクセス交通2,069人、スクールバス一般1,841人)と目標を達成できなかった。

### ・収益率

収益率20%以上に対し、6%と目標を達成できなかった。

### ・町負担額

町負担額5,000千円以下に対し、5,685千円と目標を達成できなかった。

## 7) 事業の今後の改善点

### ・乗合タクシー

#### 【美葉牛碧水方面】【竜西和方面】【施設間運行】

前年度より連絡施設間の利用人数は増えているが、美葉牛碧水方面及び竜西和方面は減少し、目標に達していない。

地域公共交通計画に基づき運行の見直しを行い、需要に即した運行内容へ改善を図る。集会等で登録や予約方法の周知や公共施設等に利用方法の掲示を引き続き行う。

### ・町営バス北竜追分線

目標に達していないため、地域公共交通計画に基づき運行の見直しを行い、需要に即した運行内容へ改善を図る。接続する深滝線ダイヤ改正では、事業者と連絡調整し住民が利用しやすいダイヤ等の見直しを行う。チラシの全戸配布や公共施設等の時刻表掲示を引き続き行う。

## 8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・いずれの目標値も達成することはできなかったが、アクセス交通については、昨年度を輸送人員を上回っており、今後も新たな利用者ニーズの掘り起こしや利用しやすいダイヤ設定等を行うなど、地域公共交通計画に基づき、更なる利用促進の取組を期待する。